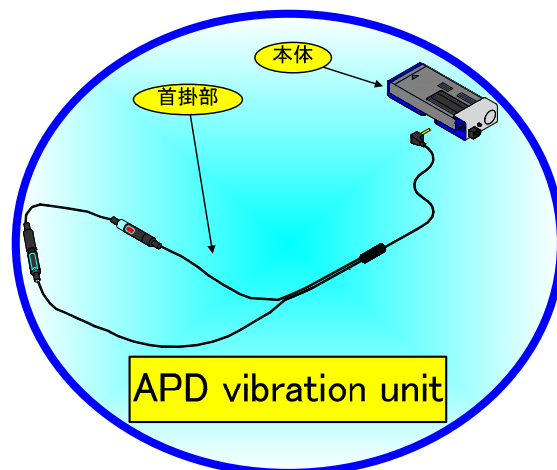


「APD バイブユニット」は、APD（警報付きポケット線量計）の警報時に発せられるLED光を検知し、本体と首掛け部の振動及び首掛け部の光で作業者に伝える製品です。主に高騒音下作業環境において、APDのアラームをより確実に作業者に知らせることを目的として、原子力発電所において実際に使用されております。



開発コンセプト



製品本体

今回、第3回アジア・オセアニア放射線防護会議（AOCRP-3）において、九州電力株式会社殿とともに「APD バイブユニット」のポスター発表を行いました。

本会議は、国際放射線防護学会の中の地域組織となるアジア・オセアニア放射線防護協議会を基盤とした国際会議であり、4年に1回開かれています。

第1回[2002年]はソウル、第2回[2006年]は北京にて開催され、第3回目となる今回は、東京で開催されました。

開催期間：5月24日～28日（28日はテクニカルツアー）

参加国数：31カ国（日本含む） 参加者数：約480名



会場のタワーホール船堀
（東京都江戸川区）